

外国出張報告書

平成 27 年 1 月 14 日

1. 出張国名 ラオス
2. 出張月 平成 26 年 5 月～10 月
3. 出張目的 持続的な商品畑作物生産のための肥培管理技術の開発：C

4. 成果の概要

ラオスにおいてトウモロコシの主要産地であるサイヤブリ県ケンタオ郡の 2 村において、27 農家圃場を対象に、それぞれ 3 区画を設定し、トウモロコシの生育状況の把握と収量調査を行った。収量は 1～7 t ha⁻¹ と幅が広がった。

傾斜の下位で高い収量が見られた。草丈が 2 m 未満と生育の悪い圃場が見られた。作物の養分状態と土壌特性を把握するため、作物体及び土壌を採取した。

ケンタオ郡では、近年、キャッサバの栽培が拡大しており、郡内の 1 村で生育調査を行った。草丈は 1～3 m と幅があった。収量調査は 3 月に行う。

トウモロコシ圃場及びキャッサバ圃場の土壌の貫入抵抗の調査を行ったところ、深さ 20 cm までは根の伸長に問題がないことが明らかになった。トウモロコシ及びキャッサバの栽培管理について、農家に聞き取りを行った。